



平和のおきて
かえるって・・・
トンとわからん!
岐阜平和ブッタの塔には

四季彩々

第16号 2007年9月号
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250



県庁会議室で長谷川県委員長(左から二人目)が県担当者側に質問

来年4月から実施される制度

8月17日県庁で
担当職員6人、年
金者組合は県執行
委員、岐阜支部、
西濃支部員、10人
で後期高齢者医療
制度の学習会、兼
話し合いを行いました。
内容は腹立
たしいものでした。
県側は開口一番
「この制度は国民
皆保険を堅持し、
将来にわたり医療
保険制度を維持可
能なものにしてい
くために必要。」
と言い放った。



県執行委員
大内たか子さん

話し合い 後期高齢者医療制度

財源構成について

後期高齢者の人数は約1300万人、その医療費は推定11.4兆円
50%……国・都道府県・市町村が4:1:1負担
11.4兆円の内訳 40%……若者保険組合から拠出
10%……高齢者の保険料
窓口では1割患者負担

保険料の算定方法について

応益割(頭割り)と応能割(所得比例)を50%づつとする。
応益割の全国平均は月、約3100円、応能割の全国平均は月、3200円
例 1) 基礎年金受給者(基礎年金79万円)の場合は7割軽減
応益900円+応能なし=900円/月
2) 厚生年金受給者(平均・年金額208万円)の場合
応益3100円+応能3100円=6200円(全国平均)

75歳以上の高齢者全員から保険料を取る仕組み、扶養家族として
保険料を払わなくてよかった約300万人からも保険料を取ります。

質問

○保険料を支払うことができ
ない人はどうするか。
国保と同じような取り扱
いになるだろう。
国保は市町村によって違
うが、この制度は県内は
同じ待遇となる。
(きつと低いサービスに
揃えるだろうナ……)

○保険料を払えない人から保
険証を上げるのは止めて
ほしい
県担当者として意見は国
に上げていく。この制度
は我々も問題があると思っ
ている。

○後期高齢者が良質の医療を
受けることが出来るか。
「全て国が検討している」
というので全く回答な
しでした。

話し合いを終えて

増え続ける高齢者がこのま
ま医療費を使い続けると赤字
が増大する、ほって置けば世
界に誇る皆保険制度が維持で
きないので、高齢者は別枠に
しよう、と言うのです。
こんな発想から逃げて見え
てくるのは、高齢者全員から
保険料を取れるだけ取って、
医療サービスは極力低くする
制度です。

実施される前にこそ、私た
ちの要求を突きつけることが
大事です。
引き続き学習を深め要求を
まとめようではありませんか。
大内 たか子

新しい仲間を紹介

支部名	7月・8月は元気な19人です		
西濃	矢橋 篤	石田光子	大月幹子
可児	渡辺利夫	尾辻則雄	北野征臣
多治見	石岡 紘	中竹政光	森 巽
	水野久子		
土岐	中嶋乃里子		
瑞浪	荻山正一	近田三千雄	
恵那	柘植洋一	石原花枝	柘植信子
	日紫喜弥定	甲斐秀水	
飛騨	保谷勝司		

8876人の署名を大垣市議会事務局へ提出

大垣の高齢者医療費助成

「垣老」を守り、拡充を!

大垣市では「大垣老人医療費助成金条
例」によって、67歳以上70歳未満の人に
助成金が支給されています。67歳以上は
窓口負担1割と言う、全国に誇れる高齢
者に優しい制度になっています。

ところが、うかうかしてい
ると来年4月からは「健康
保険法(高齢者に関する法
律)」で「大垣老人医療費助成
金条例」が廃止される。
「大垣の宝」を守り、拡充
しようという声が上がってしま
した。

年金者組合西濃支部
定期大会では、窓口負
担軽減を75歳未満まで
拡充する運動を進める
ことを決議しました。
そして医療生協をは
じめ、他団体に呼びか
けました。
市議会各派廻り・市
連合自治会長・老人ク
ラブ連合会・医師会・歯
科医師会・薬剤師会など
を訪問、署名活動の協
力を要請しました。



請願署名提出 西濃支部長田中さん(中央)奥田さん



親戚がいる熊本
まで「青春切符」で
行きました。土
岐駅から出発で
す。それも昼か
らです。冬、春、
夏休み限定、乗
れるのは快速、ローカル電
車のみですが、一日乗り放
題、激安キップです。5回
分(5枚)で二万五千円、
一度試してみたい体力
の要る旅行、2日掛かりま
す▼おもわぬ発見がありま
した。ローカル線と言っ
ても停車時間は短い、駅弁が
ない、ほとんどのホームに
店がない、トイレのない電
車が多い。ビールを飲むの
を控えた。携帯電話のぞき
族がワンサカいる。赤ちゃ
ん親子の周りには笑顔と会
話が生まれたが下車と同時
に笑顔がなくなった▼ハブ
ニングです。姫路駅二つ手
前で人身事故のため電車が
止まり、姫路で泊まるはめ
になる。宿の近くの赤提灯
で地元の酒を、と思っ
て「地酒を頼んだら新潟の
酒だった▼うましくない
ことは重なります。次の日
は雨、しかも博多の一つ手
前で電車が、また止まった。
台風のためです。タクシー
で博多まで行ったが全ての
電車が不通、地下街も台風
のため店が閉められ食事も
取れない▼「高速バス」と言
う看板が見えました。台風
でも運行していた。誰もが
高速バスへと、こた返し
ていた。熊本には夜遅く着
きました。土岐市から26時
間の乗車になった。安宿を
探します。台風は通り過ぎ
て赤提灯が呼んで
います。あーあ。

忠告を響けし シリーズ

「うまいかね？」
と梅安。
「うまい。こんな根深汁は、
はじめてだが」
いいさした彦次郎が腕の
中を凝と見て、
「はあ……」
「わかったか？」
「胡麻の油を少し、落とし
なすったね？」
池波正太郎「梅安針供養」
の中の一節である。
「やっぱ、旨い物は値段
が高い」と言う人がいる。
そうだとおもう。しかしね
安くていいものもある。



胡麻の油



茂はこれが好きで、毎日目玉焼
きを食べたそう(な)、それに豚
を少量の水で煮立てて、うどん
を入れ、ねっとりとしたヤツを
汁につけて食べる豚うどん。
さて梅安たちはこのあと、根
深汁を三杯、飯を4杯も食べて
体を休める。そして密談を始め
る。「復讐劇」は物語ではある
が小気味のよいもので、
この種のもので一番壮大なも
のはなんといいても「モンテク
リスト伯」であろう。あの「こ
れでもか、これでもか」と言う
筋立ては肉を食べる西洋人の食
文化の所産ではあるまいか。
今度の選挙の結果もこの種の
ものかも知れない。
郡上支部 加藤 清一

文芸・浮世うた

俳句

話すこと億劫になる暑さかな
壁いっばい党ボスターや夏選挙
盗られんと思つが鬱し柘榴かな

可児

林 真津



7月7日夫逝きぬ吾織姫となりてタナバタを待たむ
思わぬ位置に入日射来て白壁の小さき落書き明らかに見ゆ
クラス会どもの土産の皿二枚ゆげの膳にアジを盛らばむ

中津川

菅井 セツ

新聞の投稿欄に知人あて手紙したためる雨の日の午後
夜遊びが過ぎると小言言うわれに猫ニヤオンと口答えする
想ひ出は美化されてゆき亡き母の白萩の花は庭にこぼるる

土岐

安 桜

我がルーツ百姓なれば戦いの名にては殺さぬ誇りがありぬ
幸せはだれもくれぬと老母に言いたる吾をくやむこのころ
日に一度背中を掻かせる夫言つてさらつく手ほどほごによし

美濃加茂

中島壽美子

沙羅双樹 (一) 仏像のふしぎ

知つたかぶりして仏様の近くまで擦り寄つてみたいと思ひます。大まかなことを書き出します。神仏を冒とくするような行為に、閻魔王の前に引き立てられて、即、地獄行きは重々承知してありますが、よろしくお願ひします。



根本は変わらないけど、それぞれの教義の解釈の相違などによって、宗派が出て来ます。
例えば華嚴宗は、法隆寺・良弁。浄土宗は知恩院・法然。臨濟宗は法然・妙心寺などなど。「百聞は一見に如かず」といいます。できる事ならば、現地に出向き実物(仏像)の前にまです座することです。そして思ひっきり眼づけをする事をお奨めします。



仏様からあなたの心の奥底に、何かメッセージを送ってくれるはずですよ。
ただそれだけで、あなたに仏像のすばらしさを発見するでしょう。そして、たくさんいらつしやる仏様の中からすくすくして、好きで好きでたまらん私の仏様を一人(二仏)選びましょう。

美濃支部

三井 好機

苦勞の壁をよじ登つてこられた組合員は、ゾロゾロおられます。

よじ登る、クライミングこのカタカナ語にロック(岩)が先頭に付きまします。壁のような岩に登る年金者組合員を発見しました。中津川の女性です。ふだんは優しいような素振りですが、60歳になつても未だに岩登りの夢を持っておられる変わり者です。2回に分けて彼女の日記を掲載します。

ふるえていた

これから登ろうとする岩の固まりが見上げる空まで、私に迫っている。手がかり足がかりはある。この傾斜、80度くらいあるか。そしてふつうの登山靴だ。豊田南山のゲレンデでも御在所岳前尾根でも岩登り用の裏がゴムになつたトウシューズだったのに。その上、八ヶ岳の岩はもろかつたり浮き石が有つたりする。さつきまで樹林帯を登りながらのおしゃべりはどこに行つたのか私は無口になり、のどが渇いていた。

昨夜突然「明日八ヶ岳の中山尾根を一人で登るつもりだ。市川さんはあいている？ 行こうか」と、目の前にぶら下がつたおかしそうな人參に食らいついてしまつたのだ。リーダーは、私の力を分かっているとはいへ、慎重な人なら目的地についても少し詳しく聞くだろう。

私は、当日アプローチの車中であつた。その稜線は地蔵尾根の西に位置し、赤岳鉱泉と行者小屋の間、中山乗り越しから一時間シラビソの樹林帯を登つたところから登攀がはじまる。リーダーが登る。下で転落しないよう安全を確保しながら注視している。

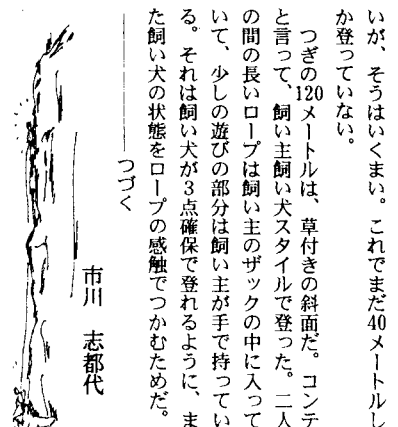
2メートル登つては岩に打ち込まれた金具にヌンチャクテープを引っかける。ヌンチャクテープはテープの両端にカラビナがついていて、一方を岩の金具にはめ、もう一方にロープを通す。

八ヶ岳中山尾根

こうすれば、登っている人がもし落ちて、下でロープをのびさないようにしているから、最後に付けたヌンチャクテープまでしか落ちないのだ。見ていると、すらすら登るところは難しくないと安心。あつちこつちと時間をかけて登り道を探しているときは困難が伝わってくる。そのうちにロープがどんどん伸びて姿が見えなくなる。自己確保できる場所に着いたのか、いよいよ私の番だな、緊張した沈黙の後、「ピレリ解除」の叫び声がきこえる。

「登れる」と「登れない」の境にいる。「もう、こんな怖いことはないやだ」と心で叫びながらリーダーの所についた。2ピッチ目、少し西北に回り込んでいたため雪がついている。アイゼンを出すことにする。アイゼンは尖つた歯がついていて雪にくさがる靴の下にはくと安心だ。前歯が2本出た12本爪を、先シーズン買ったおいた。はじめて装着する。「アイゼン着けると少し難しいよ」「前の刃を立てて」と言われた。雪のかかった、髪の毛のような細い草斜面だ。雪の重みで水平に幹を出しているダケカンバもある。それらをつかみながら、つま先でグイグイ登る。

これは簡単だ。こういうところばつかりならいいが、そうはいくまい。これでまた40メートルしか登っていない。つぎの120メートルは、草付きの斜面だ。コンチンチンと、飼い主飼い犬スタイルで登つた。二人の間の長いロープは飼い主のザックの中に入っていて、少しの遊びの部分は飼い主が手で持つていて、それは飼い犬が3点確保で登れるように、また飼い犬の状態をロープの感触でつかむためだ。



市川 志都代